1泊2日の軽井沢・豪華ホテルとスノーシュー体験ツアーの旅

日　程：2023 年 2 月 26（日）～27 日（月）の 2 日間

参会者：富田、塚本、山田、桂木、佐藤（幸）、小林、水野、鹿島、佐藤（文）９名

2 月 26、27 日の 2 日間、フォレストクラブの熟年男女 9 人が、信州軽井沢に出かけました。

旅の目的は、生まれて初めてのスノーシュー体験（全員ではありません）ですが、贅沢なホテルでの温泉と、美酒を囲んでの愉快な放談会が色を添えました。

26日(日)

天気は快晴。つくば谷田部の体育館駐車場を朝 9 時、車 2 台に分乗して出発。

軽井沢 IC まで約 2 時間と少し。IC から車で 20 分、スノーシュー（700 円）のレンタル店に立ち寄り、途中、時間が勿体ないとのことから昼食はコンビニで済ませた。

いざ目的地の小浅間山（標高 1655m）の登山口（峰の茶屋）までおよそ 30 分。丁度午後 1 時頃に着いた。だが、たっぷり雪があるかと思いきや、「2 月初めまでは 30 センチほどの積雪があった」（レンタル店の店主）そうだ」が、その後は晴れ続きで雪が溶け、ルートはすっかり踏み固められてアイスバーンに化していた。「これではスノーシューは履けまい」と、一同スノーシューを担いで歩き始めた。それからおよそ 10 分。坂も少し急になってきたので、いよいよスノーシューを履き、両手にストックを握って勇ましく歩き出した。

樹林帯を過ぎ、視界が空けた頂上直下の西峰と頂上（東峰）の分岐で一休み。ここでスノーシューを脱いで、山頂に一気に駆け上がったが、雪は無し？　登山口から山頂までは高低差にして 250m。そこから更に、最も浅間山の眺めの良いとされる西峰に向かつた。そして樹林を抜けるといきなり浅間山が突然姿を現す。ここからの浅間山は流石に圧巻でした。（記念写真）

下山は西峰から直下、スノーシューの脱いだ分岐に向かう。しかしルートを見失い通り過ぎる。慌てて登り返す。何とも恥ずかしや（リーダー）。10 分ほどロスして、再び下山を開始。午後 3 時半過ぎに峰の茶屋に到着した。休憩時間を入れて約 2 時間半の行程でした。

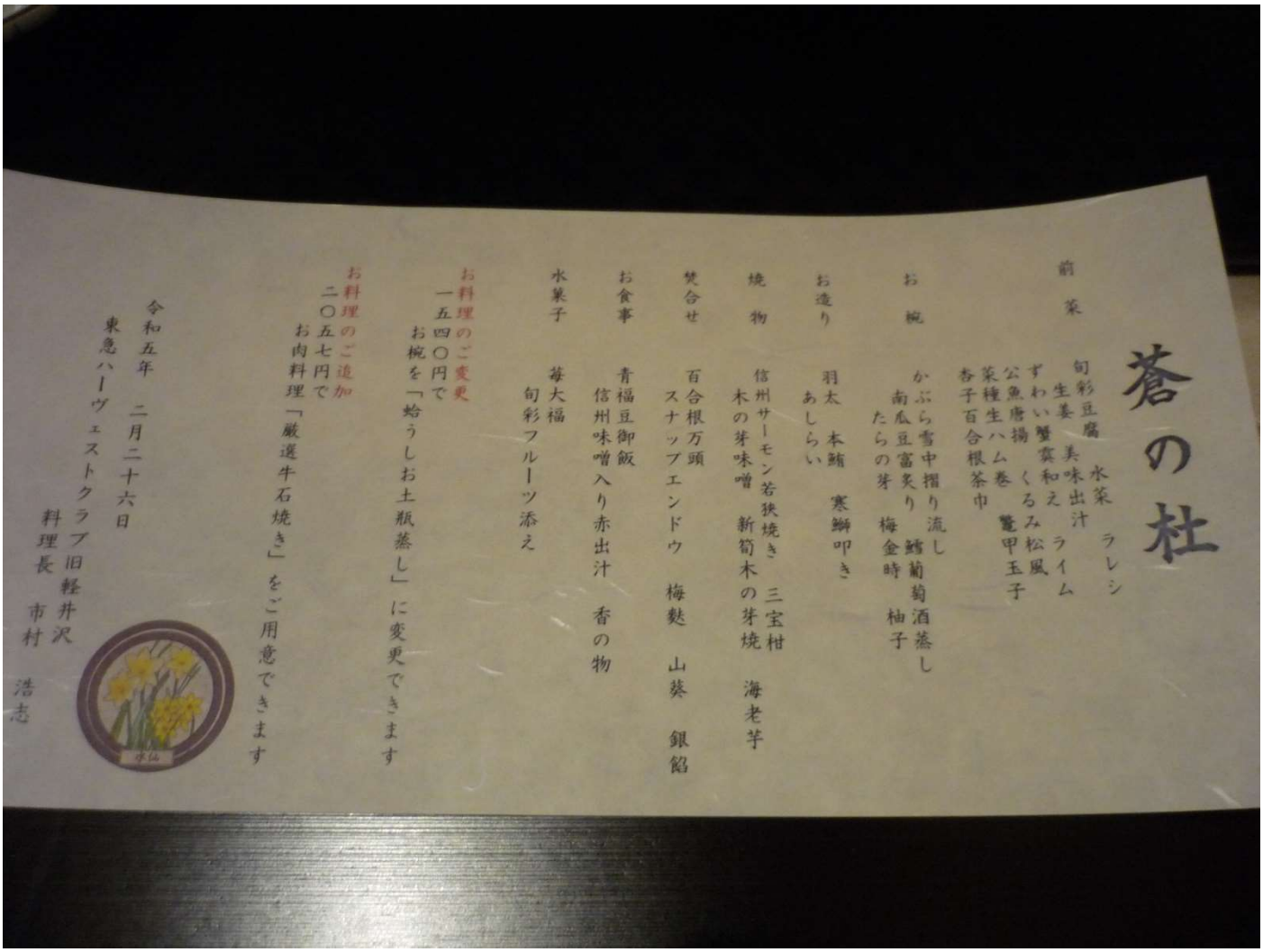
▲小浅間山山頂(西峰)から雲たなびく浅間山をバックに9人の熟年勇姿。ハイ、ポーズ。

今夜の宿泊は、YM 嬢の計らいで東急ハーヴェストクラブ旧軽井沢。夕方 4 時過ぎに到着。

宿泊の説明を伺った後、それぞれの部屋に分散。そして、冷えた体を温め、癒しに露天風呂のある大浴場へ向かう。ああ・・何と心地よいことか。疲れは一気に吹き飛ぶようでした。

夕食は午後6時から･･･

美味しい夕食ディナーは、献立表（写真）「蒼の杜」（見難いですが）のとおりであります。



蒼の杜

前菜
旬彩豆腐　水菜　ラレシ
生姜　美味出汁
ずわい蟹　真和え　ライム
公魚唐揚　くるみ松風
菜種生ハム巻　鷺甲玉子
香子百合根茶巾

お椀
かぶら雪中摺り流し
南瓜豆富炙り　鰆葡萄酒蒸し
たらの芽　梅金時　柚子

お造り
羽太　本鮪　寒鰤叩き
あしらい

焼物
信州サーモン若狭焼き　三宝柑
木の芽味噌　新筍木の芽焼　海老芋

焚合せ
百合根万頭
スナップエンドウ　梅麩　山葵　銀餡

お食事
青福豆御飯
信州味噌入り赤出汁　香の物

水菓子
苺大福
旬彩フルーツ添え

お料理のご変更
一五四〇円で
お椀を「始うしお土瓶蒸し」に変更できます

お料理のご追加
二〇五七円で
お肉料理「厳選牛石焼き」をご用意できます

令和五年　二月二十六日
東急ハーヴェストクラブ旧軽井沢
料理長　市村　浩志

スノーシューで無事に下山でき、まず乾杯！

信州の地酒は数々あれども今夜は、信州最古（1540 年創業）の酒蔵、川中島の酒千蔵野（しゅせんくらの）の「川中島幻舞」で乾杯。ネットによれば、現在杜氏を務めているのは蔵元の一人娘、千野麻里子という方だそうです。

▲東急ハーヴェストクラブ旧軽井沢　　▲美味しい和食のディナーと信州の地酒、そして放談を楽しむ

放談はこの席だけでは済むはずはありませんでした。

引き続き部屋に帰り、盛り上がります。ワイン有り、ビール有り、日本酒有りで、お二人の愉快な放談は、途切れることなく延々と続きました。

27日(月)

朝食はビッフェではありません。バイキングスタイルです。

食べ放題と言えども、さすがに朝はそうは行かない。それでも絶品の地元直送のヨーグルトに限っては、何倍もお代わりする食通がおられました。

チェックアウトは午前 10 時

10 時までホテル内をブラブラ。チェックアウトを済ませて車でプリンス・ショッピングプラザに立ち寄り、お土産の野沢菜漬けや、おやきなどを買う。

そして、そのあとは蕎麦好きによく知られている「信州そば処霧里」に立ち寄り昼食。もり、ニシン、鴨ねぎ、天ぷらと、好みは皆さんそれぞれだ。

▲帰路では、軽井沢の信州そば処霧里に立ち寄る。
写真は美味しそうな鴨ねぎ蕎麦

碓井軽井沢インターから再び上信越高速道路に乗り、途中横川サービスエリアで休憩。妙義山を眺めながら一路つくばに向かったものの、東北道に入るや久喜インター手前で渋滞（約１時間）に巻き込まれ、つくばに着いたのは予定より大幅に遅れ５時を過ぎていた。後続で走っていたはずの桂木さんの車が、追い抜きもされていないのに、なぜか早々到着していたのは驚きでした。

まあ、色々とありましたが、とまれ事故もなく楽しく愉快な２日間でありました。　　おわり

文：佐藤（文）